

平成27年全国及び岡山県学力・学習状況調査結果 結果と今後の取組について

津山市教育委員会学校教育課

調査結果の分析

全国学力・学習状況調査 平均正答率【対象:小学6年、中学3年】単位%

校種	H27小学校(小6)				H27中学校(中3)			
	国語A	国語B	算数A	算数B	国語A	国語B	数学A	数学B
全国	70.0	65.4	75.2	45.0	75.8	65.8	64.4	41.6
岡山県	69.2	64.5	75.2	44.8	74.8	63.5	62.9	38.3
津山市	70.2	61.1	74.4	40.7	74.7	63.6	60.4	35.8
対県比	Δ1.0	Δ3.4	Δ0.8	Δ4.1	Δ0.1	0.1	Δ2.5	Δ2.5

岡山県学力・学習状況調査 平均正答率【対象:中学1年】

校種	科目	H27県学力調査			
		国語	数学	社会	理科
全国	理科	60.8	53.0		
岡山県	理科	59.9	51.5		
津山市	理科	57.4	47.9		
対県比	理科	Δ2.5	Δ3.6		

全国及び岡山県学力・学習状況調査の概要

<学力状況調査>

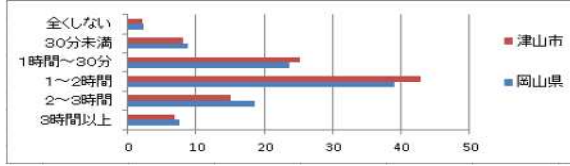
H19の調査開始以来、はじめて国語Aが全国平均を超えた。中学校の国語Bで県平均を上回った。そのほか全ての科目において県平均との差が縮まり、改善された。しかしながら、依然-4.1~-0.1Pの差がある。
小学校において、国B・算Bの活用問題において、県平均との明らかな差(-3.4ポイント)が見られる。中学校は全体的に、県平均との差が縮まっているものの、県平均自体が全国と比べて相当な開きがあり、深刻な状況であるため、楽観視できない。
学校単位で見ると、県平均を超える(目標)学校が、確実に増加してきていることは、着実な取り組みの成果であると言える。
小学校算数Bにおいて、全体的に全国平均との差が縮まり改善が見られるものの、記述式や短答式の問題に対する正答率が依然として低い。
小学校理科において、実験器具(メスリンダ)の名前を問う設問など、基礎的・基本的な内容について課題が見られる。また、実験結果や資料から考察し、自分の考えを記述したり検討したりする設問の差が大きい。
中学校においては、ここ数年の中では、県平均との差がマイナス0.1~2.5ポイントと縮まってきているが、多くの設問で平均正答率が全国平均を下回っている。国語Aでは、手紙の書き方や古典の問題、数学Aでは連立二元一次方程式の立式などの基礎的な知識を問う問題で改善傾向が見られる。
全ての科目において、目的に応じて複数の内容を関連づけて自分の考えを整理したり、判断する根拠を説明したり記述したりするなどの思考力・表現力を必要とする問題への課題が大きい。
無回答は、小・中学校ともにほとんどの問題で全国平均以下になるなど、大きく改善している。

<学習状況調査>

学習状況調査については、昨年と比べて、ほぼ全ての項目で小中学校ともに改善傾向が見られる。特に、中学校における教師の意識改革が進んでいる状況がうかがわれる。しかしながら、小学校では家庭学習の時間及び内容について依然課題が見られる。中学校ではテレビの視聴時間は県平均よりも良好だが、スマホ等の使用時間との兼ね合いを見ている必要がある。
特に、小学校において、教師の意識として「できている」、「取り組んでいる」と思われる授業改善の各項目に対して、今回の全国調査(小6)の児童質問紙の結果を見ると、平成27年度岡山県学力調査(中1対象)の学習状況調査の結果とほぼ同じ傾向を示している。各校の結果を詳細に分析して、教師と児童の意識のズレを真摯に受け止めて、進めていく必要がある。

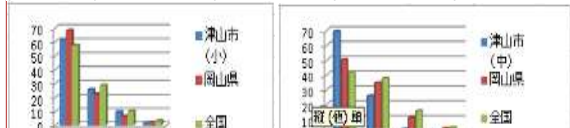
全国及び岡山県学力・学習状況調査の質問紙において特徴が見られた項目

質問内容	普段の家庭学習の時間(中1県調査)					
	3時間以上	2~3時間	1~2時間	1時間未満	30分未満	全く見ない
岡山県	7.5	18.6	39	23.6	8.8	2.3
津山市	6.9	15	42.8	25.2	8	2.1
県との差	-0.6	-3.6	3.8	1.6	-0.8	-0.2



項目	★授業のはじめに、学習のねらいや目標が示されていたか。			
	よく当てはまる	当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない
津山市(小)	61.6	25.9	10	2.1
岡山県	68.3	22.5	6.7	2.3
全国	57.5	28.8	10.3	3.3

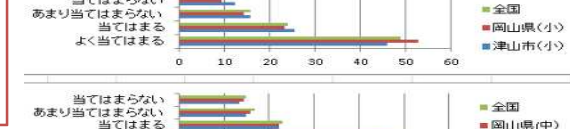
項目	★授業において、話し合う活動をよく行っていたか。			
	よく当てはまる	当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない
津山市(小)	41.9	38.5	16.6	2.7
岡山県	49.2	36.8	11.6	2.4
全国	46.7	38.5	12.1	2.6



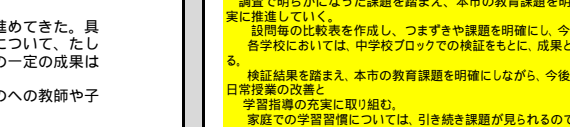
項目	★授業のはじめに、学習のねらいや目標が示されていたか。			
	よく当てはまる	当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない
津山市(中)	69.3	25.8	3.2	1.5
岡山県	50.3	34.5	11.2	3.8
全国	41.9	37.8	15.7	4.6



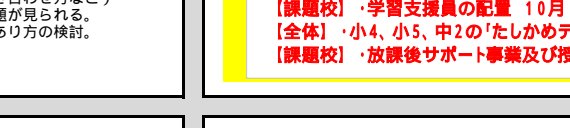
項目	★地域や社会で起こっていることに問題や出来事に関心がありますか。			
	よく当てはまる	当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない
津山市(中)	20.2	36.9	30.4	12.4
岡山県	19.9	36.8	28.7	14.5
全国	18.3	37.6	29.9	14.1



項目	★読書は好きですか。			
	よく当てはまる	当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない
津山市(小)	46	25.5	15.7	12.4
岡山県(小)	52.8	23.4	14.2	9.4
全国	48.9	23.9	15.7	11.5



項目	★読書は好きですか。			
	よく当てはまる	当てはまる	あまり当てはまらない	当てはまらない
津山市(中)	49.2	22.2	15	13.4
岡山県(中)	47.4	22.3	15.9	14.3
全国	44.9	23	16.8	15



成果と課題

これまで調査問題を活用した授業改善、基礎的・基本的な内容の確実な定着を図る取組を進めてきた。具体的には、設問毎の正答率の分析から、特に、小学校においては、四則計算や小数の計算等について、たしかめプリントなどを各校で工夫して繰り返し取組んだことで、全国平均を大きく上回るなどの一定の成果があった。
外部講師や指導主事を招聘しての授業改善の取組は、着実に進んでおり、授業そのものの教師や子ども達の意識は高まっている。
例:「授業のはじめにねらいや目標が示されたか」 H24: 40.8% H27: 61.6%
「グループの中で考えを出し合ったり、深め合ったりしたか」 H24: 44.9% H26: 52.2%
一方で、取組がやや単純化、矮小化された傾向があり、特に、活用問題等への対策の意識が低かった。調査問題で課題とされたこと(例:割合や小数倍、の意味や面積に関する問題、1文を2文に直したり、条件が示された中で記述式の問題など)の授業中における具体的な取組が不十分であった。
小中学校ともに、無解答率がほとんどの問題で上昇していることは、日常的な指導のあり方を各校で見直す必要がある。
(ノート等に意見を書かせる場面や、授業のまとめ、日常的なテストやプリント等への向き合わせ方など)小・中学校とも、授業と家庭学習をつなぐ意識や家庭時間の確保については、依然として課題が見られる。テレビの視聴時間は減少傾向にあるが、ケータイやスマホ等SNSの使用時間や使用法のあり方の検討。

取組の検証方法及び検証時期

指定研究事業や授業公開等による改善状況の把握
小3、小5の標準学力検査の実施(小3は3学期、小5は1学期。結果を受けて改善策の見直し)
hyper-QUによる児童生徒の実態把握(小5と中1で2回実施)
小4.5、中2に学力定着状況たしかめテストの実施
家庭学習強化週間の実施(チャレンジハッピーデー等)

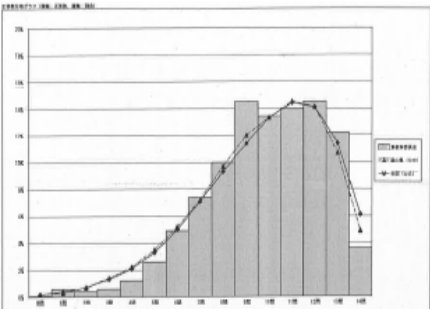
課題に対応した改善方法

調査で明らかになった課題を踏まえ、本市の教育課題を明確にし、「津山市学校力向上推進プラン」をもとに、「わかる授業・楽しい学校」に向けた取組を着実に推進していく。
設問毎の比較表を作成し、つまづきや課題を明確にし、今後の各学校の授業改善や教科指導等に活用する。
各学校においては、中学校ブロックでの検証をもとに、成果と課題を明らかにし、校区の取組も視野に入れた「学力・学習状況改善プラン」を作成し、今後の指導に活用する。
検証結果を踏まえ、本市の教育課題を明確にし、今後の教育施策の改善や現在取り組んでいる「げんぼプロジェクト」への反映を図る。また、確かな学力を育成する日常授業の改善と、学習指導の充実に取り組む。
家庭での学習習慣については、引き続き課題が見られるので、家庭学習時間についての実態把握を行うとともに、学校と家庭及び地域が一体となった取組の充実が必要である。
【学力向上に向けた7つの取組】
【全体】学力担当委員会(教務主任・研究主任)小中学校部会の開催(10/2、10/29)
【課題校・指導力】改善プランの進捗状況の確認・市教委指導主事とのタイアップによる授業改善 10月~
【中学数学】・中学校数学活用問題、プロジェクト
【若手教員指導力】・若手教員を対象とした勉強会(自主研修会)(月1回程度)年間10回実施
【課題校】・学習支援員の配置 10月~2月
【全体】・小4、小5、中2の「たしかめテスト」へ向けた具体的な取組及び小6の状況把握の取組(12月)
【課題校】・放課後サポート事業及び授業改革推進員事業との連携 10月~

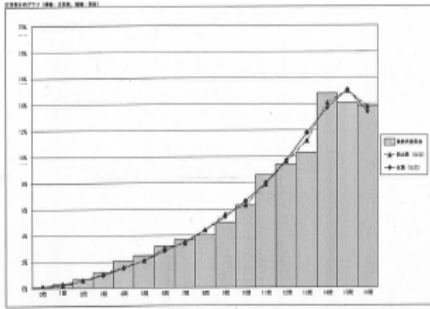
達成目標(数値目標)

【津山市目標:平成28年度調査で、小6及び中3ともに全教科全科目に岡山県平均正答率を超える】
全教科とも県の平均正答率を上回る。
全く家庭学習をしない児童生徒の割合を0にする。
家庭学習(1時間以上)の割合を県平均以上にする。
若手教員の勉強会は7回以上行う。
学力調査官の招聘は2回以上行う。
指導主事による学校訪問は、小中合わせて30回以上行う。

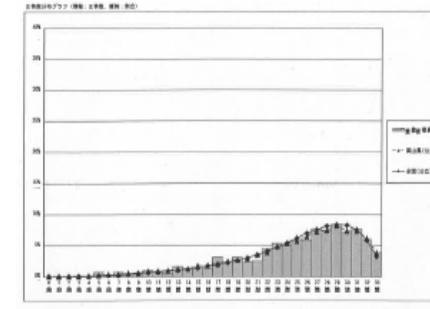
小学校 国語A



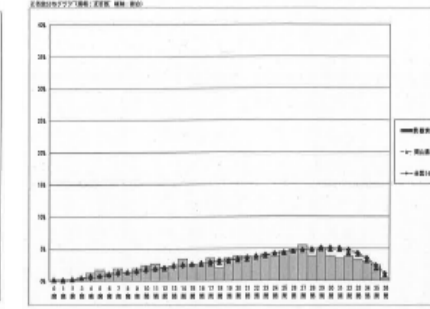
小学校 算数A



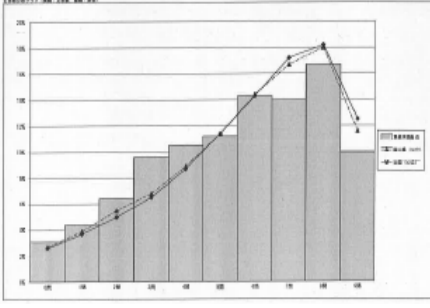
中学校 国語A



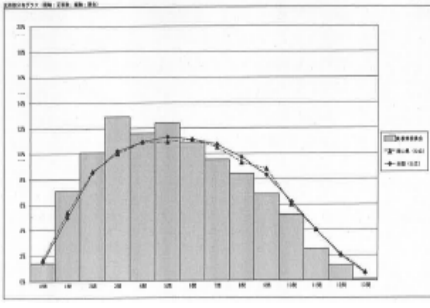
中学校 数学A



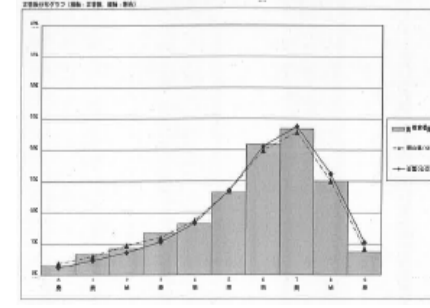
小学校 国語B



小学校 算数B



中学校 国語B



中学校 数学B

